

マツダ財団 2026 年度の研究助成を決定

一人びとが共に繁栄を分かち合い、心豊かに生きることのできる社会の実現を願ってー

公益財団法人マツダ財団(理事長 菖蒲田 清孝 以下、マツダ財団)は、2026 年度の研究助成を決定しました。

今年度は、全国の大学・研究機関などからの応募総数が 323 件となり、その中から「科学技術の振興」関係として 30 件に助成金総額 3,200 万円を、また「青少年の健全育成」関係として 6 件に助成金総額 400 万円の研究助成を決定しました。合計では、36 件、総額 3,600 万円となります。

なお、科学技術振興関係の助成対象の中から、選考委員会が特に優れた研究であるとみなした各分野1件、合計 4 件の研究に対し、「マツダ研究助成奨励賞」を贈呈し、副賞として 50 万円をそれぞれ追加助成します(総額 3,200 万円の内数)。

今年度の研究助成は次の通りです。

1. **科学技術の振興関係**は、応募 255 件に対し、助成 30 件、助成金総額は 3,200 万円(100 万円/件、+奨励賞 50 万円/件)です。現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究を助成対象としています。その中でも、先進的・独創的な研究や未来をひらく萌芽的研究を期待しています。また次世代を担う若手研究者および循環・省資源に貢献する研究を優先して助成しています。

中国地方では、「精密重合法で拓くポロジカル共役高分子材料の化学」(広島大学)などの 4 件が選ばれました。

「マツダ研究助成奨励賞」では、社会的意義や応用展開の可能性のある革新的研究として、「物理化学的解釈性を備えた材料インフォマティクスによる高性能双性イオンポリマーの合理的設計」(群馬大学)、「植物 4D デジタルツイン構築を自律化する AI 計測基盤」(奈良女子大学)など 4 件が選ばれています。

2. **青少年の健全育成関係**は、応募 68 件に対し、助成 6 件、助成金総額は 400 万円です。青少年の健全育成に係る教育現場および市民活動の活性化に役立つ汎用性の高い研究(基礎的研究を含む)で、現代社会の問題・課題を掘り下げた研究を、助成対象としています。

今回は、「高校生向けデジタルヘルスリテラシー教材の開発およびクラスターランダム化比較試験による教育効果の検証」(日本大学)、「思春期の子どもはなぜ親に相談しないのか? — 家庭内の心理的安全性と親子間認知のズレに着目して —」(広島大学)などが選ばれています。

なお、2027 年度青少年健全育成のための市民活動支援につきましては、10 月中旬に、広島・山口両県で募集を開始します。

1984 年に設立されたマツダ財団は、人びとが共に繁栄を分かち合い、心豊かに生きることのできる社会づくりに寄与するために、「科学技術の振興」と「青少年の健全育成」を 2 本柱として事業を展開しています。これまでの助成実績は今回を含め合計 2,879 件、21 億 1,851 万円となりました。

マツダ財団は、「つなぐ」をテーマに、更なる社会貢献に取り組んでまいります。

以 上

第 42 回(2026 年度)マツダ研究助成一覧

マツダ財団ホームページ : <https://mzaidan.mazda.co.jp/>

【科学技術振興関係】

助成金額は一律 100 万円。但し、「マツダ研究助成奨励賞」に選出されたものは、50 万円の追加助成。

◇印は循環・省資源に係わる研究

◆印は「マツダ研究助成奨励賞」対象者

地域	研 究 題 目	循環/省 資源:◇	研 究 代 表 者	助成金額 (万円)
宮城県	高温 HAXPES 装置の開発と溶融合金の熱力学過剰量の起源解明		渡邊 学 東北大学 特任助教	100
秋田県	多数ファン協調制御による非定常乱流生成の基礎学理とオンデマンド風況再現基盤の創成		高牟礼 光太郎 秋田大学 准教授	100
福島県	量子強化型認知駆動ワークロード管理による次世代持続可能都市クラウド・エッジシステムの研究	◇	SAXENA Deepika 会津大学 准教授	100
栃木県	EMG・MMG 生体信号解析および機械学習を用いた軽度筋疲労のリアルタイム評価技術の開発		中林 正隆 宇都宮大学 助教	100
群馬県	光と物質がもつ角運動量の相互変換に向けた、2次元原子層物質が円偏光に対して示す光物性の理論研究		辰巳 由樹 群馬工業高等専門学校 講師	100
群馬県	物理化学的解釈性を備えた材料インフォマティクスによる高性能双性イオンポリマーの合理的設計	◇	松原 希宝 群馬大学 助教	150 ◆
東京都	非ガウス性環境振動下における自己発電型 IoT センサの高出力・高信頼設計法	◇	土田 崇弘 東京科学大学 助教	150 ◆
東京都	細胞活動を操るための散乱・波長補正を用いた光照射技術基盤の確立		松田 汐利 東京科学大学 助教	100
東京都	モデル界面を用いた導電性 MOF/酸化物ヘテロ薄膜の UV 光応答設計	◇	中山 亮 東京大学 准教授	100
東京都	エントロピー工学:逆スピン転移材料の学理構築と機能開拓	◇	金友 拓哉 東京都市大学 准教授	100

地域	研 究 題 目	循環/省 資源:◇	研 究 代 表 者	助成金額 (万円)
神奈川県	多成分分子結晶を用いた不均一光レドックス触媒の創成	◇	堀内 新之介 慶應義塾大学 准教授	100
新潟県	異種群ロボットによる非ホロノミック物体の協調運搬制御系構築		深尾 優斗 長岡技術科学大学 助教	100
長野県	混合伝導性ソフトマテリアルを基盤とした物質系物理リザーバーの開発	◇	石崎 裕也 信州大学 助教	100
愛知県	SiO ₂ -SUS 複合粒子を用いたショットピーニングによる高強度・高耐久性接着接合継手の開発	◇	林 美佑 豊田工業高等専門学校 助教	100
愛知県	次世代パートナーAIに向けた推論時極小介入:知能と感情の独立制御による共感型システムの実現		駒水 孝裕 名古屋大学 准教授	100
愛知県	希土類錯体ナノシートにおける RKKY 相互作用制御に基づく量子フロンティアマテリアルの創製		米田 丈 名古屋大学 助教	100
京都府	天然芳香族の精密分子設計と二量体再構築によるバイオベースポリイミドの創製		榎本 有希子 京都大学 准教授	100
京都府	3D プリンティング磁性材料の磁気特性を表現する等価モデルとそのパラメータ同定手法の構築	◇	孔 暁涵 京都大学 助教	100
大阪府	量子コンピュータを用いた革新的情報伝達技術の実現に向けて: 非平衡物理学からの解明と機能探索	◇	山本 和樹 大阪公立大学 講師	150 ◆
奈良県	植物 4D デジタルツイン構築を自律化する AI 計測基盤		KUO Meng-Yu Jennifer 奈良女子大学 助教	150 ◆
広島県	大規模言語モデルが併走するソフトウェア工学演習支援システムの構築と評価		中才 恵太郎 近畿大学 講師	100
広島県	精密重合法で拓くトポロジカル共役高分子材料の化学	◇	茅原 栄一 広島大学 特定教授	100

地域	研 究 題 目	循環/省 資源：◇	研 究 代 表 者	助成金額 (万円)
広島県	トポロジカル電子材料におけるスピン・軌道テクスチャのベクトル場計測	◇	黒田 健太 広島大学 准教授	100
広島県	潜在的空孔をもつ平面分子結晶による省エネルギー分離材料の創製	◇	小野 雄大 広島大学 特任助教	100
香川県	高効率な電荷輸送・イオン輸送・発光を同時実現するピンサー型金錯体超分子集合体の創製	◇	田原 圭志朗 香川大学 准教授	100
香川県	骨格動力学解析に基づく不整地運搬ロボットの適応的形狀設計法の確立		土谷 圭央 香川大学 講師	100
福岡県	大気圏再突入宇宙ゴミを起源とする金属エアロゾル粒子の発生動態解明と氷晶核形成への影響評価		市原 大輔 九州工業大学 准教授	100
福岡県	電子-イオン連動型 POM/MOF 複合体の創製とイオン輸送機能の開拓	◇	荻原 直希 九州大学 准教授	100
熊本県	レアアースフリー円偏光発光を実現するホモキラル金属ハライドイオン液体の創製	◇	明石 優志 熊本大学 テニユアトラック助教	100
宮崎県	太陽光から電気と温水を生み出す集光型太陽電池裏面水路システムの開発	◇	浅見 明太 宮崎大学 准教授	100

科学技術振興関係

30 件

助成金総合計

3,200 万円

「マツダ研究助成奨励賞」(科学技術振興関係)一覧

分野	研 究 題 目 選 考 理 由	研究代表者
【化学系材料】	「物理化学的解釈性を備えた材料インフォマティクスによる高性能双性イオンポリマーの合理的設計」 本研究は、海洋・医療・産業分野に共通する重要な社会課題であるバイオフィアウリング対策に取り組む、社会的意義の高い研究である。量子化学計算と機械学習を融合したデータ駆動型アプローチにより、防汚材料の合理的な設計指針を構築しようとする点に高い独創性と先進性が認められる。加えて、解析から材料設計、実証までを見据えた研究構想は実現性と発展性に優れており、今後の材料開発への大きな波及効果が期待される。将来の材料科学分野を牽引する研究者として期待したい。	松原 希宝 群馬大学 助教
【電子・情報】	「植物 4D デジタルツイン構築を自律化する AI 計測基盤」 本研究は、3D 計測研究のボトルネックであるデータ取得の自動化に正面から取り組む意欲的な研究であり、AI による閉ループ型撮像制御という新規性の高い提案が評価できる。植物科学の知見を活用した 4D デジタルツイン構築は学術的意義が大きく、普及型機材での実現を目指している点も実用性が高い。将来的には多分野への展開が期待される。	KUO Meng-Yu Jennifer 奈良女子大学 助教
【機械】	「非ガウス性環境振動下における自己発電型 IoT センサの高出力・高信頼設計法」 本研究は、実環境に存在する非ガウス性不規則振動を活用して振動発電デバイスの高出力・高信頼設計法を新たに創出する点が貴重かつ有用な研究である。課題となる非ガウス性の過大応答や故障リスクの増大を、非ガウス性振動下での出力電力と信頼性を同時に解析することで最適設計条件を明らかにして解決を図るという研究計画も具体性があり、実用化の可能性も高いと判断する。	土田 崇弘 東京科学大学 助教
【物理系材料】	「量子コンピュータを用いた革新的情報伝達技術の実現に向けて:非平衡物理学からの解明と機能探索」 量子コンピュータは現在の計算機技術を未来に向かって凌駕する可能性を秘めている。本研究は、散逸の存在する冷却原子系において、観測誘起相転移を物性物理や量子情報などと融合することで、量子コンピュータ実現に向けた非平衡物理学から研究推進する新規性の高いものである。	山本 和樹 大阪公立大学 講師

計 4 件

【青少年健全育成関係】

地域	研 究 題 目	研 究 代 表 者	助成金額 (万円)
東京都	高校生向けデジタルヘルスリテラシー教材の開発およびクラスターランダム化比較試験による教育効果の検証	大塚 雄一郎 日本大学 准教授	85
広島県	思春期の子どもはなぜ親に相談しないのか？ ー 家庭内の心理的安全性と親子間認知のズレに着目して ー	西村 由貴子 広島大学 特任助教	85
茨城県	家庭訪問型保育支援における音楽を媒介とした関係形成に関する研究 ー 個別的配慮を必要とする子どもの育ちを支える音楽プログラムの開発を通してー	仲条 幸一 つくば国際短期大学 講師	50
東京都	精神疾患の親をもつ子どもに対するアートワークを用いた心理支援の検討ー小児期逆境体験に対する保護的体験の維持の視点からー	平野 真理 お茶の水女子大学 准教授	60
石川県	発達特性のある青少年の孤立を防ぐ「居場所づくり」の実践的研究 ー 既存校・新設校における刺激調整・見守り・戻りやすさの検証ー	藤井 容子 金沢大学 准教授	60
大阪府	育児シミュレーションベビーを用いた育児マルチタスク体験による児童の向社会性育成プログラムの開発と実証的研究	川原 妙 大阪大学大学院 准教授	60

青少年健全育成関係

6 件

助成金総合計

400 万円